

# ぬまづ憲法9条の会

169号  
2020年3月1日  
事務局  
神田健夫  
921-7755

## アベ首相の執念と焦り 改憲発議反対と ホントの「こと」を結んで

長州が首相を輩出してきたことを誇らしく語った。

桜を見る会疑惑で泥まみれになろうとも、消費税増税・アベノミクスで日本経済が不況に転げ落ちようとも、アベ首相は、ハイテンションで改憲発言を繰り返している。

**野望 歴史に名を残す**  
アベ首相は明治150周年の時に講演し、明治50年時の首相は寺内正毅（陸軍大将、初代朝鮮総督）、明治100年時は佐藤栄作（祖父・岸信介の弟）、明治150年時は安倍晋三と、天皇主権の時代と主権在民の時代の区別もせず、山口・

そして何よりも「私の歴史的使命」＝憲法改正を成し遂げた首相として歴史に名を残したいのである。だからこそ、世論として「憲法改正」の要望が少なくても、「アベの下での改憲に反対」の世論が5割を超えていても、どこ吹く風、世論に背をむけて改憲に異常な執念を燃やし続けるのである。

だが、21年9月の任期までに改憲のために残された時間は限られている。それでアベ首相は焦っているのだ。

数々の疑惑 嘘と資料隠し  
妻・昭恵が主導する森友学園、刎頸の友・加計幸太郎を支援する加計学園、政

府主催行事を自らの後援会行事に私物化する「桜を見る会」。

これほどあからさまに私利をむさぼり疑惑にまみれた首相は今までいただろうか？その上、アベと菅官房長官・官邸官僚は嘘をつき資料は捨て胡麻化し続けている。アベ首相に憲法を語る資格などあるはずはない。

今国会で、桜を見る会疑惑の真実を語り、資料を提出する。これこそ、主権者へのアベ首相の責務であるう。

「アベは本当のことを言え」と「アベの下での改憲反対」を結ぶ世論こそ、決め手だ。

\*\*\*\*\*

自民党の「令和2年度運

## 自民党運動方針案

### 「党を挙げて活動」と

「動方針案」は、本文冒頭に改憲項目を立てた。

国会発議に力を尽くす  
その内容は、一つには、

安倍首相提案の自衛隊明記の9条改憲を含めた改憲項目を取りまとめたとし、「幅広い合意形成を図りつつ、憲法改正原案の国会発議に向けた環境を整えるべく力を尽くす」と述べている。

## “草の根で”展開

二つには、「憲法改正に向けた国民的議論を前進させるため、党を挙げて活動を展開していく」と表明。「遊説・組織委員会」の設置、全国各地での「憲法改正研修会」の開催、女性向けパンフの発行、インターネット動画の活用などと述べている。

## 広範な人々と対話し

これに対し、9条マガジン編集後記は、へいよいよ正念場だ。私たちの『改憲発議に反対する全国緊急署名』運動との草の根での対決だ。署名などを通じて広範な人々と「対話」を強め、改憲 発議反対の世論を巻き起こし、自民党の改憲策動を必ず打ち破ろうと呼

びかけている。

## 突然 全国休校要請

### アベ首相の独断

2月14日アベ首相。新型コロナウイルスの有識者会議への出席は僅か8分。夜の日経新聞会長らとの会食は2時間48分。

だが、2月27日、突然、アベ首相は全国の小中高校、特別支援学校に休校（3月2日から春休みまでの間）要請を宣言。25日の政府の基本方針には触れておらず独断とのこと。

アベ首相の「やっている感」を示す計算だけは確か。だが、その根拠・効果は？なぜ全国一律？働く親への対応は？何も示されず。

改憲をかえさせない  
集会・スタンディング

3月28日（土）1時30分

沼津・中央公園

スタンディング

3月21日（土）1時30分

沼津駅南口 井上靖碑前で実施します。

### 検察人事にまで手をだす

検事総長への起用をいらんだ黒川弘務検事長の勤務延長。人事院幹部は2日後には答弁を変え、法務大臣は素つ頓狂にも「口頭決裁」と言い出す。アベ首相の尻ぬぐいのため、検察庁法をめぐって滅茶苦茶である。

背景には、カジノ汚職で逮捕された元担当副大臣などもあるが、むしろ桜を見る会疑惑で問われるアベ首相自身の政治資金規正法・公選法違反があり、その検察捜査を逃れるためとの見方が有力。

憲法違反の集団的自衛権容認のために、内閣法制局長官への外務省出身者の起用。株価値維持のために、日銀総裁への黒田東彦氏の起用。政権に近い考えの人物の起用で職務の独立性を削ぎ、思いのままに政治を操る。アベ首相は、検察人事にまで手をだすことで、また

一步悪への道を進んだ。ただ、追い込まれた挙句の果てに。

### 「安倍さんから人心が」

アベ首相は全国一律学校休校の要請にあたり、専門家会議の意見を聴くこともしなかった。

朝日新聞によれば、全国一斉臨時休校は、アベ首相を支え続ける菅官房長官、杉田官房副長官は関わりなかった。側近である萩生田光一文科大臣は異論を唱えた。つまりアベ首相の独断だった。進言し支えたのは今井尚哉首相補佐官（経産省幹部、元経団連会長の甥）らであった。

自民党幹事長経験者が語った『今回の対応が安倍さんから人心が離れるきっかけになるかもしれない』が紹介されている。

### マスコミにも憤怒を・

2月29日夕刻のアベ首相の記者会見は、本紙1面で問うた基本的な疑問に何ら答えることなく、用意し

てあった記者質問、首相回答を双方とも読み上げるような「馴れ合い」を感じさせるものでしかなかった。

マスコミに「全国一斉の臨時休校」要請という異常な首相判断に迫る気迫はなかった。これに憤怒を覚えたのは筆者だけではなかったのでは。

### 沖縄新基地建設 軟弱地盤

### 「最悪、護岸崩壊も」

辺野古新基地建設で水深90mまで軟弱地盤が達するデータを防衛省が隠していた問題が発覚した。

「このまま工事を強行すれば地滑りが海中で起こり、工事中に護岸が崩れる恐れがある。再調査をすべき」（立石雅昭新潟大学名誉教授）との指摘に、防衛省は調査しないと強弁する。

「不都合なデータがでるのを避けるためではないか」と立石さんは言う。

アベ内閣は、地盤改良工事に伴う設計変更を3月に

も沖縄県に申請し基地建設を強行する構えである。

米軍と日本政府は危険な普天間基地の代わりの基地を引き受けると迫り、代わりの基地を造らなければ普天間は返還しないと言う。余りに理不尽であり、ここに県民の本当の怒りがあるという。

あの美しい辺野古の海への土砂投入を防衛省は乱暴に続ける。沖縄県民は土砂搬出・投入を阻止しようと、あきらめずに非暴力で闘い続けている。

### 復興五輪 原発は消え

オリンピックの聖火リレーは3月26日、福島県・楢葉町のJヴィレッジから始まる。

コースからは第一原発も、除染廃棄物を詰め込んだ黒いフレコンパックも、その仮設置き場も見えない。浪江町は、ロボット研究開発拠点、水素製造施設は通っ

ても空地だらけの中心市街地は通らない。

「復興五輪」と言いながら、原発被災は消されていく。

### あれこれ

◆昨年10～12月期の国内総生産統計は、個人消費と設備投資の激減で年率6.3%ものマイナス成長に。ところがアベ内閣の2月月例報告は景気の基調判断を「緩やかに回復」とする。あれ？

◆働くのはより長く、年金受給はより遅く。そういう意図が「全世代型社会保障」のようなきれいな言葉の裏に隠れていることを、繰り返して注意喚起を。

(上西充子・法政大学教授) \*\*\*\*\*

### 今年も意見広告

5月3日掲載予定  
朝日・毎日新聞 一面掲載  
掲載賛同金 500円

静岡県「意見広告」参加9条の会  
募集呼びかけ文・申込封筒

連絡先 事務局 神田まで

電話・FAX 92117755